



# ティーンズの本棚

2023年 10月 第163号  
(月1回発行)  
半田市立図書館  
tel 0569-23-7171  
亀崎図書館  
tel 0569-29-5060

## 本で知る世界の国々 「インド」編

インドでは、たくさんの言葉が使われます。そのうちのひとつヒンディー語で「ナマステー」は、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」の、どれも使えるあいさつ言葉です。

### 旅が好きだ！ 21人が見つけた新たな世界への扉

河出書房新社／編 角田光代／[ほか]著 河出書房新社 (T290/9)



大学1年生の高野さんは、旅先のインドで現地の人に騙され、パスポートや現金を盗まれて無一文になります。現地で暮らすために必死で話したため、結果的に語学力がつくと、最初は最悪だったインドの印象が180度変わりました。後に高野さんがノンフィクション作家になるきっかけとなった、旅のお話。

「天才でないあなたへ」高野秀行／著 より

## 新しく入った本

### 夜空にひらく

いとうみく／著 アリス館 (T913/1)



バイト先のコンビニで、暴力事件を起こした17歳の鳴海円人。家庭裁判所での審判で試験観察処分となります。補導委託先に選ばれたのは、煙火店(花火製造所)を営む家でした。親の愛情を知らずに育った円人でしたが、店主の家族や住み込みで働く職人たちとにぎやかな毎日を過ごすうち、少しずつ心を開いていって…。

一人の少年が人とふれあい、成長していく物語。

### 恐竜がもっと好きになる化石の話

ゆり先生の化石研究室  
木村由莉／著 岩波書店 (T457/1)



化石の研究をする著者が、100年ほど前に活躍した「化石ハンター」の発掘調査の様子を紹介しながら、現場での苦労や、掘り出すための工夫を丁寧に説明してくれます。発掘された化石からは、恐竜がどんな物を食べていたのか、どのように進化したのかなど様々なことがわかります。

「勉強」とは異なる「研究」の世界に触れてみませんか。

## ちょっと一息

### ハロウィーンの料理帳

魔女と吸血鬼のちょっと不気味な30のレシピ

ヴァンサン・アミエル／著 熊谷久子／訳 原書房 (596.4/7)



カボチャをくり抜いて作られた、ハロウィーンを象徴するお化け、ジャック・オーランタンが飾られるようになったのは、19世紀にアメリカで祝うようになってからです。その昔ヨーロッパではカブが使われていました。「野菜のミイラのパイ包み」「モンスターのドーナツ」など、ハロウィーンの料理を作ってみませんか。

## 8類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容(テーマ)によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。今回は「8類」の本を紹介합니다。8類には、辞典、文法、方言、外国語など、言語に関する本があります。

### 翻訳できない世界のことば

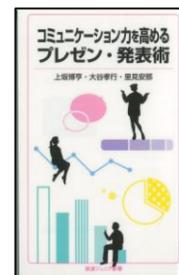
エラ・フランシス・サンダース／著 イラスト 前田まゆみ／訳 創元社 (802/9)



世界のことばには、翻訳しようとするとうさわしいことばがない場合があります。例えば、イヌイット語(エスキモー系民族の言語)で「イクトゥアルポク」は、「誰か来ているのではないかと期待して、何度も外に出て見てみる」という意味ですが、一言では言い表せません。ほかにも、日本語の「積ん読」や「わびさび」など、うまく翻訳できない、ユニークな言葉を紹介しています。

### コミュニケーション力を高めるプレゼン・発表術

上坂博亨ほか／著 岩波書店 (T809/1)



多様化、複雑化がすすむ現代社会では、自分の考えを相手に正しく伝え、理解・行動を促すプレゼンテーション能力がますます重要になってきています。見やすい資料の作り方や話し方のコツ、緊張感のコントロールなど、プレゼンの基礎を丁寧に解説した本です。

日々練習をして、あなたのプレゼンテーション能力を向上させましょう。

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です(インターネット登録が必要です)詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.handa.lg.jp/tosho/bunka/gejutsu/toshokan/toshokan.html>



半田市立図書館キャラクター  
ブックんとしおりちゃん